

高田松原の再生に向けて



高田松原再生講座（第3回）の開催

第3回「高田松原再生講座」は終了しました。

たくさんのご参加ありがとうございました。

▶ 第3回 開催報告はこちら



▶ ちらしの拡大 (PDF)

陸前高田市は、震災復興計画に高田松原の再生を位置づけ、市民の総意として美しい松原を取り戻すことを希求しています。

(一財)ベターリビング・(一財)日本緑化センターは、NPO法人高田松原を守る会など市民による高田松原再生活動を支援することとし、高田松原の歴史、文化、環境、地元とのつながり、さらに再生に必要な技術と知識を学び、松原再生活動のエネルギーを持続し、次世代へ再生活動を継承することを目的に、本講座を、2015年から年1回開催しています。



この講座を通して、市民の皆様の松原に対する一層の理解と今後始まる松原の植栽・保育活動の核となるボランティア育成に力を入れていきたいと考えています。

- ▶ 第1回（2015年）の講座のようす
- ▶ 第2回（2016年）の講座のようす
- ▶ 第3回（2017年）の講座のようす



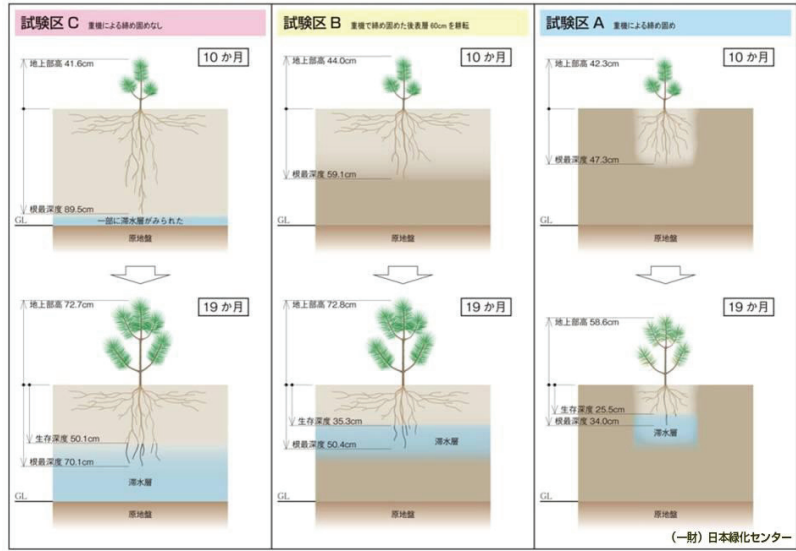
開催概要（第3回）

日時	2017年2月4日(土) 13:00～（開場 12:30）
場所	陸前高田市コミュニティホール 大会議室 （岩手県陸前高田市 高田町字栃ヶ沢210番地3）
主催	NPO法人高田松原を守る会、一般財団法人ベターリビング、一般財団法人日本緑化センター
後援	岩手県、陸前高田市、日本海岸林学会、陸前高田ロータリークラブ、日本造園建設業協会岩手県支部、日本樹木医会岩手県支部、松保護士会
協力	公益社団法人ゴルフ緑化促進会
参加費	無料（定員100名、事前申込は不要です）
内容 （敬称略）	講演1 「 小友試験地の根系調査結果について 」 小野 賢二 （研）森林総合研究所東北支所 講演2 「 高田松原地区海岸防災林造成事業について 」

	<p>岩手県大船渡農林振興センター</p> <p>講演3 「住民参加による植栽と保育管理について」 梅津 勘一 山形県最上総合支庁産業経済部森林整備課長（樹木医・松保護士）</p> <p>「わたしの高田松原」作品コンクール 表彰式</p> <p>「強い風からマツ苗を守ろう！ 高田松原の竹簀づくり」 実演：NPO法人高田松原を守る会</p>
お問い合わせ	<p>（一財）日本緑化センター 企画広報部 担当：小山（こやま）・吉宮（よしみや） TEL：03-3585-3561 FAX：03-3582-7714 Email: matsusai@jjpgreen.or.jp ○を@に変えてください</p>
ダウンロード	<ul style="list-style-type: none"> ・講座案内  PDF 537KB ・高田松原の竹簀づくり  PDF 400KB

本講座は、一般財団法人ベターリビングが主催する「高田松原再生活動（ブルー&グリーンプロジェクト）」の一環として実施するものです。

第1回調査時（植樹10か月後）と第2回調査時（19か月後）の生育状況比較（各試験区の平均値）



予

グ プ

松原再生講座」 開催
歴史 文化 環

予

松原」
文

7) 松原での試験植栽

平成29（2017）年度からは、いよいよ植栽が始まります。

市・県による植栽に歩調を合わせて、高田松原を守る会と一体に、市民・市でボランティア活動に従事した人たち・各地の松原保全活動グループをはじめ、大勢の参加者を募り植栽と保育を行います。



森林総合研究所東北支所 小野氏

その後、講演に移り、国立研究開発法人森林総合研究所 東北支所の小野賢二氏から「**盛土工を伴う海岸林再生の現状－小友試験地の根系調査から明らかになったこと**」

次いで、岩手県大船渡農林振興センター 森林保全課主任主査 萩谷義久氏より

「**高田松原地区海岸防災林造成事業**」について、

さらに、山形県 最上総合支庁産業経済部森林整備課課長 梅津勘一氏からは、

「**住民参加による植栽と保育管理**」

について解説いただきました。



岩手県大船渡農林振興センター 萩谷氏



山形県最上総合支庁 梅津氏

この後、「**わたしの高田松原**」作品コンクール入賞作品の発表が行われ、作文を書いた気仙中学校の生徒など24人が表彰されました。

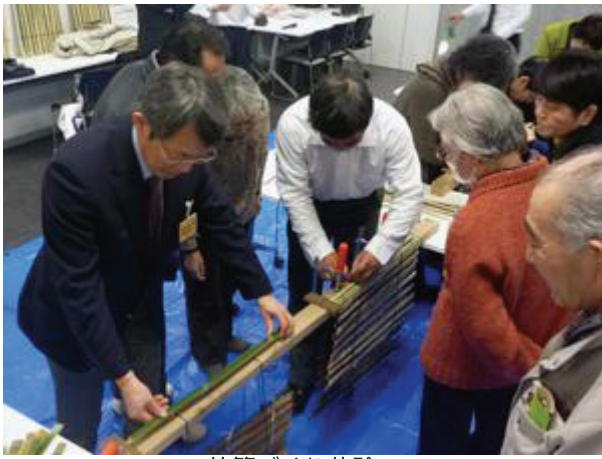
また、昨年に続き、高田松原を守る会とボランティアの方々の指導のもと、「**強い風からマツ苗を守ろう！高田松原の竹箆づくり**」を参加者の皆様に体験していただきました。守る会では、現在およそ4,000枚の竹箆を完成させています。



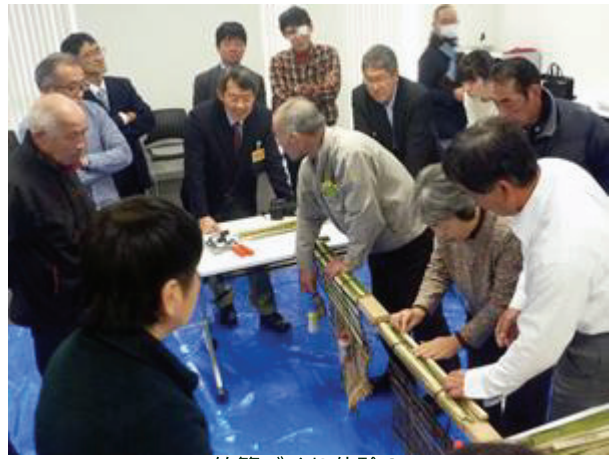
コンクール応募作品の展示



コンクール受賞者の表彰



竹簀づくり体験1



竹簀づくり体験2

最後に、日本センター・浦田啓充専務理事が閉会の挨拶を行い、約100名にご参加いただいた講座を終了しました。

この講座は、毎年1回行う予定です。